

令和 5 年 8 月 4 日  
道路局 企画課



## 「道の駅」の第 59 回登録について

～今回 5 駅が登録され、全国で 1,209 駅となります～

今回、県及び市町より申請のあった 5 駅を、新たに「道の駅」として登録します。これにより、全国の「道の駅」は、合計で 1,209 駅になります。

「道の駅」は平成 5 年の制度創設以来、今年で 30 年が経過しました<sup>\*</sup>。国土交通省では、新たに加わった「道の駅」とともに、地方創生・観光を加速する拠点への進化を目指す第 3 ステージの取組みを進めてまいります。

<sup>\*</sup>平成 5 年 4 月 22 日 第 1 回登録（全国 103 駅）

### (1) 「道の駅」の登録数

1,204 駅（これまで）+ 5 駅（今回）= 合計 1,209 駅

※前回は令和 5 年 2 月に 6 駅登録

### (2) 「道の駅」の登録について

国土交通省道路局では、市町村等からの申請に基づき、要件を満たすものを、「道の駅」として登録しています。

「道の駅」の主な要件については、以下の通りです。

・無料で 24 時間利用できる

① 十分な容量を持った駐車場

② 清潔なトイレ（原則、洋式）

③ 子育て応援施設（ベビーコーナー等）

があること。

・道路及び地域に関する情報を提供する施設があること。

・文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設があること。

・施設及び施設間を結ぶ主要経路のバリアフリー化がされていること。

※全国の「道の駅」の一覧については、以下の URL を参照ください。

<https://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/list.html>

### <問い合わせ先>

国土交通省 道路局 企画課 高濱・守田（内線：37552、37558）

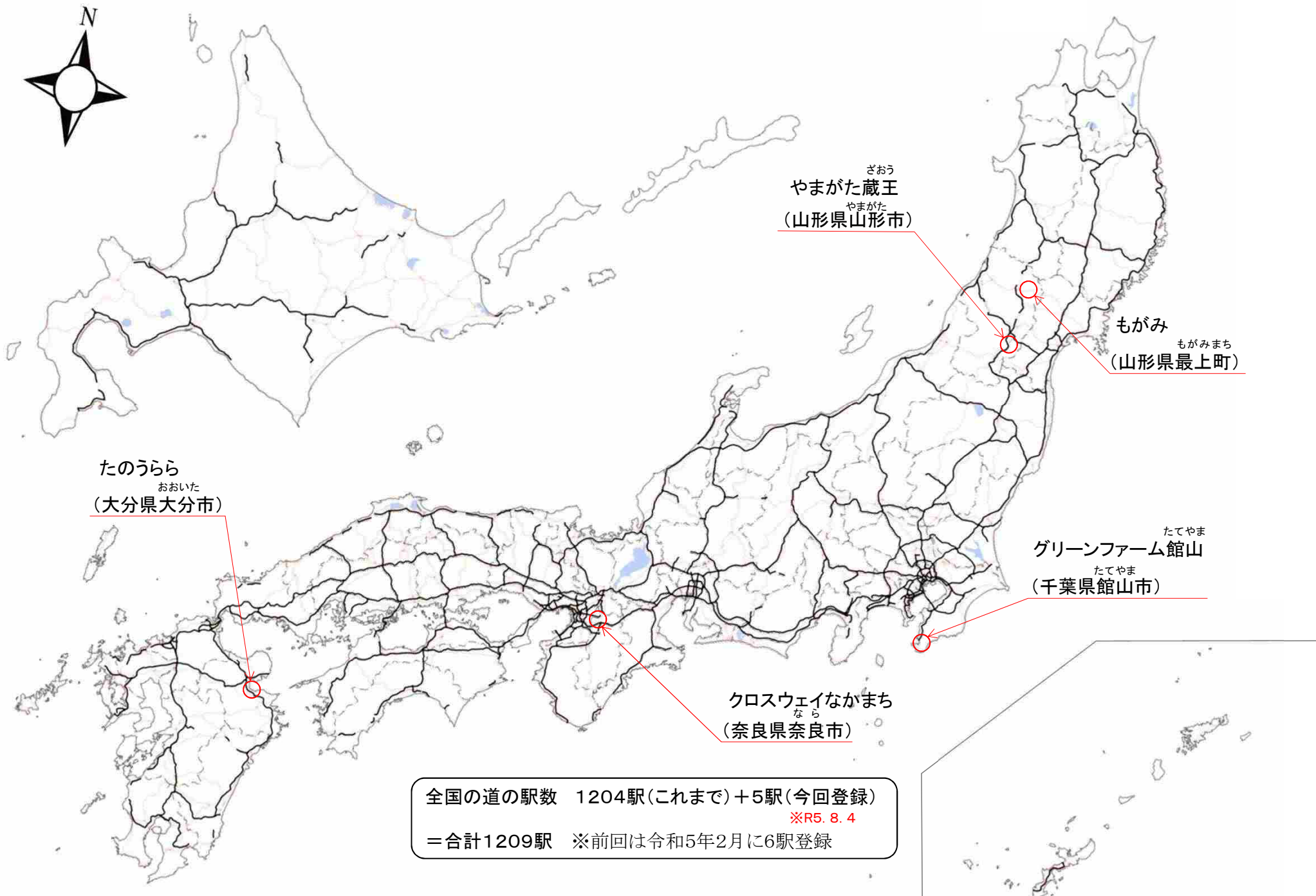
代表 (03) 5253-8111 直通 (03) 5253-8485

## 新たに「道の駅」に登録する箇所一覧（令和5年8月4日 5箇所）

	都道府県	申請者	駅名	設置箇所	路線名	道路種別	整備手法	オープン予定
1	山形県	やまがた 山形市	やまがた <sup>ざおう</sup> 蔵王	やまがた おもてざおう 山形県山形市表蔵王79番地1	一般国道13号	直轄 国道	一体	令和5年度
2	山形県	もがみまち 最上町	もがみ	もがみ もがみまち 山形県最上郡最上町大字 しも やなぎのはら 志茂字柳ノ原1469番地50	一般国道47号	直轄 国道	一体	令和5年度
3	千葉県	たてやま 館山市	グリーン ファーム館山	たてやま いな 千葉県館山市稲274番地	市道8038号線	市道	単独	令和6年 2月
4	奈良県	奈良県	クロスウェイな かまち	なら なかまち 奈良県奈良市中町4694-1	主要地方道 ひらかたやまとこおりやま 枚方大和郡山線	主要 地方道	一体	令和5年度
5	大分県	おおいた 大分市	たのうらら	おおいた かんざき 大分県大分市大字神崎字 かじわら 梶原1228番9	一般国道10号	直轄 国道	一体	令和6年度

注1)道の駅の整備手法には、道路管理者と市町村等で整備する「一体型」と市町村等で全て整備を行う「単独型」の2種類あり、上表「整備手法」欄の「一体」「単独」とは、それぞれ「一体型」「単独型」であることを意味します。

# 「道の駅」第59回登録箇所（5箇所）



全国の道の駅数 1204駅(これまで)+5駅(今回登録)  
※R5. 8. 4  
=合計1209駅 ※前は令和5年2月に6駅登録

# 道の駅「やまがた蔵王」

- ◆路線名：一般国道13号
- ◆所在地：山形県山形市表蔵王79番地1
- ◆面積および施設等
  - ・面積：21,161㎡
  - ・施設：駐車場367台、トイレ83器、情報提供・休憩施設、観光案内所、ベビーコーナー、備蓄倉庫、非常用電源、貯水槽、マンホールトイレ、公衆電話、公衆無線LAN、物販施設、飲食施設、多目的ホール、更衣室、バス停留所、バス待合、芋煮広場、イベント広場、車中泊施設、シェアサイクル、サイクルラック、EV充電施設
  - ・整備手法：一体型
- ◆オープン予定：令和5年度
- ◆特徴
  - ・東北中央自動車道・山形上山ICに近接、山形を代表する観光地「蔵王」の登り口に位置し、広域観光のゲートウェイとして蔵王及び山形の自然、食文化、伝統などの魅力を発信
  - ・地場産品を扱う隣接商業施設と連携し、あらゆるニーズに対応した一大観光拠点を形成
  - ・高速・路線バスの発着点等の交通拠点機能、災害時の広域的な防災拠点機能を整備

## イメージパース

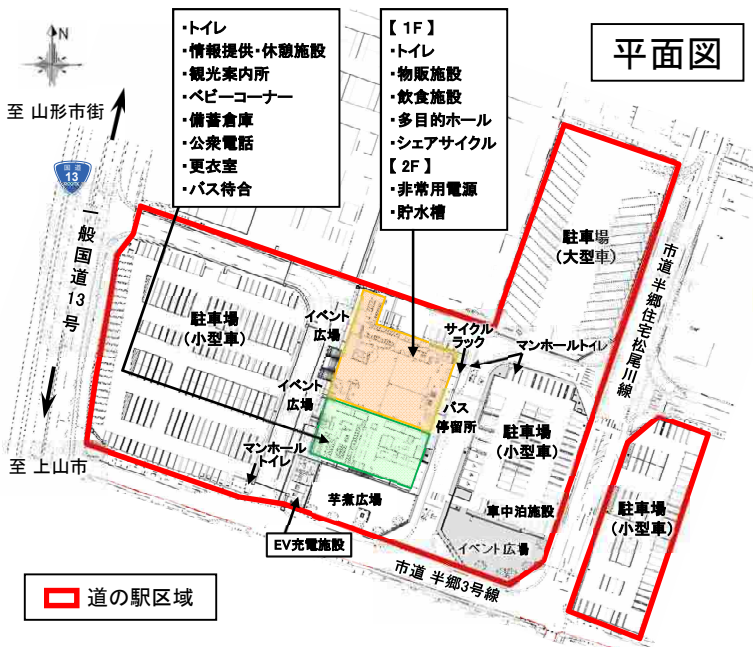


## 位置図



出典：国土地理院ウェブサイト(https://www.gsi.go.jp/)

## 平面図



## 位置図



出典：国土地理院ウェブサイト(https://www.gsi.go.jp/)

# 道の駅「もがみ」

◆路線名：一般国道47号

◆所在地：山形県最上郡最上町大字志茂字柳ノ原1469番地50  
もがみ もがみまち しも やなぎのはら

◆面積および施設等

- ・面積：3,139㎡
- ・施設：駐車場54台、トイレ22器、情報提供・休憩施設、観光案内所、ベビーコーナー、非常用電源、公衆電話、公衆無線LAN、物販施設、交流スペース、会議室、EV充電施設

・整備手法：一体型

◆オープン予定：令和5年度

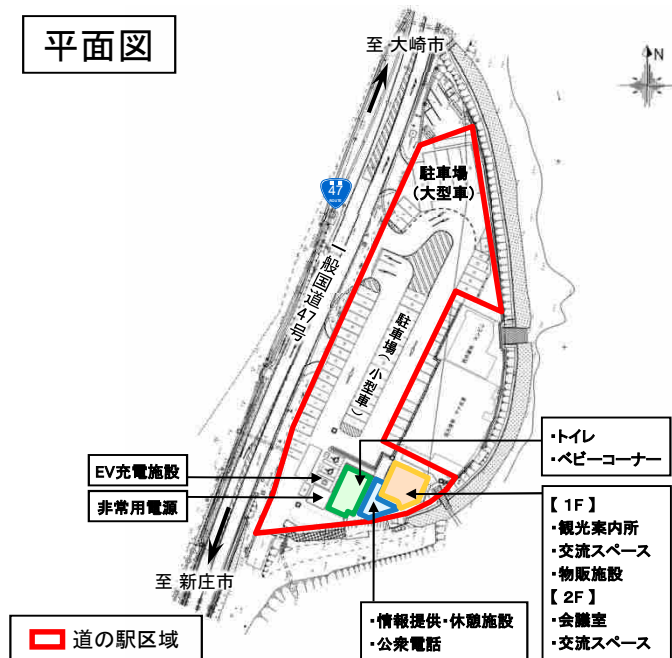
◆特徴

- ・日本海と太平洋を結ぶ一般国道47号に位置し、山形県の東の玄関口として物流・観光・ビジネスといった道路利用者の利便性向上と、町内外への誘客及び地域住民活躍機会の創出により地域活性化につながる交流拠点
- ・周辺の観光・イベント情報や地域の資源・史跡・各種体験等の情報を、「最上町観光協会」がコンシェルジュとして対面にて情報提供
- ・地域サークル活動、各種研修等、多様な目的に合わせて利用できる交流スペースを設置

イメージパース



平面図



位置図



位置図



# 道の駅「グリーンファーム館山」たてやま

◆路線名：市道8038号線

◆所在地：千葉県館山市稲274番地

◆面積および施設等

- ・面積：27,867㎡
- ・施設：駐車場131台、トイレ20器、情報提供施設、休憩施設、観光案内所、ベビーコーナー、非常用電源、貯水槽、マンホールトイレ、公衆無線LAN、物販施設、飲食施設、体験室、加工室、農園、EV充電施設
- ・整備手法：単独型

◆オープン予定：令和6年2月

◆特徴

- ・基幹農道である市道8038号線（安房グリーンライン）と幹線道路である一般国道128号が交わる房総エリアの中心部に、人・モノ・情報の拠点施設を整備することで、農産物の流通改善や観光振興を図る
- ・地域の観光と農水産業をつなぎ、生産者との交流や収穫・調理体験等を一体的に体験でき“体験価値の高い道の駅”
- ・千葉県南部地域の観光情報や歴史文化情報を発信する、地域のゲートウェイ

## イメージパース



## 位置図



出典：国土地理院ウェブサイト(<https://www.gsi.go.jp/>)

## 平面図



## 位置図



出典：国土地理院ウェブサイト(<https://www.gsi.go.jp/>)

# 道の駅「クロスウェイなかまち」

◆路線名：主要地方道<sup>ひらかたやまごおりやま</sup>枚方大和郡山線

◆所在地：奈良県奈良市中町4694-1

◆面積および施設等

- ・面積：33,500㎡
- ・施設：駐車場257台、トイレ40器、情報提供施設、休憩施設、ベビーコーナー、非常用電源、備蓄倉庫、貯水槽、マンホールトイレ、公衆無線LAN、物販施設、飲食施設、交流スペース、キッズスペース、更衣室、サイクルステーション（レンタサイクル含む）、芝生広場、ドッグラン、EV充電施設、バスターミナル、オープンテラス・テラスデッキ、調整池
- ・整備手法：一体型

◆オープン予定：令和5年度

◆特徴

- ・県産農産物等を取り扱う直売所、レストラン、カフェのある「地域振興機能」
- ・バスターミナルのある「公共交通の結節点機能」
- ・周辺地域だけでなく中南和地域も含め観光資源等の情報を発信する「地域観光のゲートウェイ機能」
- ・非常用発電、災害時に自衛隊等の支援活動が可能な駐車場、備蓄倉庫を備えるとともに、全ての建物を耐震化した「防災機能」（令和3年6月に「防災道の駅」に選定）

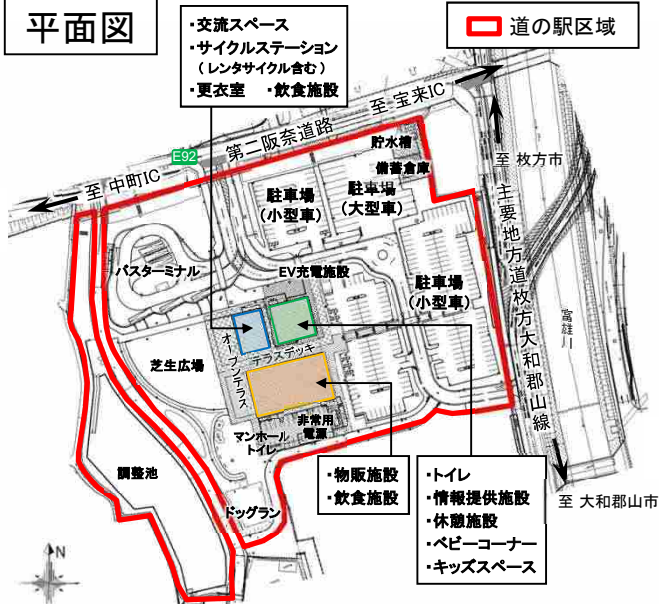
## イメージパース



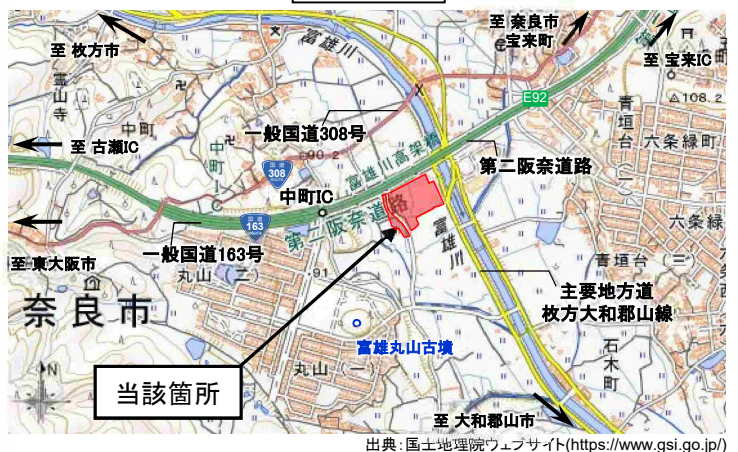
## 位置図



## 平面図



## 位置図



# 道の駅「たのうらら」

◆路線名：一般国道10号

◆所在地：大分県大分市大字神崎字梶原1228番9

◆面積および施設等

- ・面積：17,520㎡
- ・施設：駐車場270台、トイレ74器、情報提供コーナー、休憩コーナー、ベビーコーナー、非常用電源、備蓄倉庫、公衆無線LAN、物販施設、飲食施設、多目的室、キッズスペース、歴史文化コーナー、ホール（おとの聴こえる広場）、音楽スタジオ、サイクルステーション・ランナーズステーション、展望スペース、屋外テラス、EV充電施設、サイクルラック
- ・整備手法：一体型

◆オープン予定：令和6年度

◆特徴

- ・県都である大分市と国際観光温泉文化都市である別府市の間に位置し、優れたアクセス性と観光地が集積する立地を利用した、大分市のゲートウェイとして整備
- ・地元産品を中心に扱うとともに、商品試作協力等による6次産業化支援、オリジナル商品の開発、生産者を支援する体制構築等により地域活性化及び地域経済の発展に寄与
- ・路面電車の展示などによる周遊のきっかけづくりと、歴史文化情報の発信と継承
- ・道路交通・気象情報をリアルタイムに提供する24時間利用可能な情報提供施設を整備

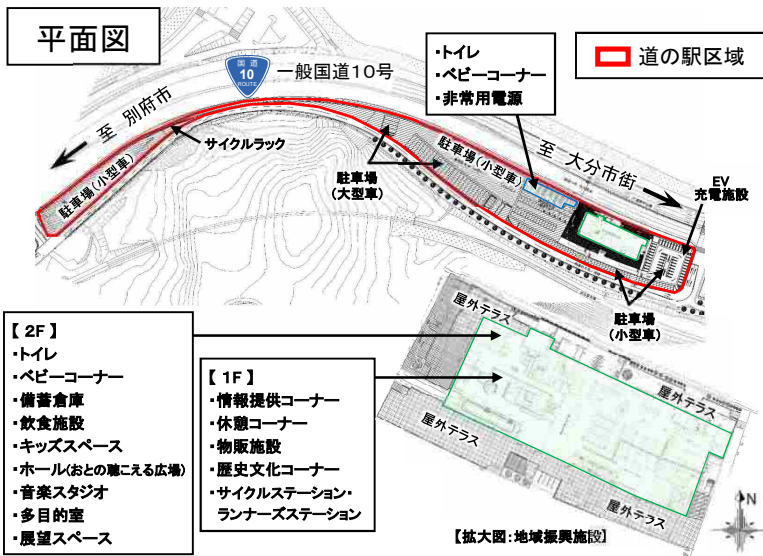
イメージパース



位置図



平面図



位置図

